

## 池谷裕二『自分の脳を知っていますか』 テスト練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

### 【漢字問題】

次の太字のカタカナを漢字で書きなさい。

問1 脳ノウの奇妙なクセ。

問2 キミョウキミョウな現象。

問3 必要な要素を選びヌク。

問4 いくつかの要素をヒカクヒカクする。

問5 おタガオタガいに知っていれば。

問6 非合理的な決断にオチイオチイる。



## 【重要語句と言葉の意味問題】

問1 「際限」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：物事が移り変わっていく途中の状態
- イ：物事の終わり。かぎり。きり。
- ウ：一番最初のこと。始まり。
- エ：とても細かくて見えにくいこと

問2 「奇妙」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：道理に合わなくて筋が通らない様子
- イ：普通とは違って、不思議な様子
- ウ：とても美しく素晴らしい様子
- エ：新しく誰も見たことがない様子

問3 「理不尽」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：とても怒っていて手がつけられないこと
- イ：理由がはっきりしていて分かりやすいこと
- ウ：道理に合わないこと。筋が通らないこと
- エ：時間が足りなくて焦っていること

問4 「直感的」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：理屈で考えず、感覚で瞬時に物事を捉える様子
- イ：順序立てて時間をかけて考える様子
- ウ：たくさんの要素を一つ一つ丁寧に比べる様子
- エ：他人の考えに合わせて判断する様子



問5 「不調和」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：体の具合が悪くなること
- イ：楽器の音がきれいに響くこと
- ウ：約束を破ってケンカになること
- エ：つりあいがとれていないこと。仲が良くないこと

**【内容読解・記述問題】**

問1 筆者が「この疑問」として序論で読者に問いかけている一文を、本文中から2つ抜き出さなさい。

問2 筆者は、この疑問を問うことで何が理解できると述べていますか。本文の言葉を使って6字で書きなさい。

問3 クッキーを選ぶ2つの実験の結果として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：実験①ではAとBが半々の割合で選ばれるが、実験②では全員がCを選ぶようになる。
- イ：実験①ではAがBよりも多く選ばれるが、実験②ではCを選ぶ人はおらず、Bを選ぶ人が増える。
- ウ：実験①ではAとBが半々の割合で選ばれるが、実験②ではCを選ぶ人はおらず、Bを選ぶ人が増える。
- エ：実験①ではAとBが半々の割合で選ばれるが、実験②ではAとBに加えてCを選ぶ人も均等に増える。



問4 実験②において、クッキーAを選ぶ人が減ることが「意外なこと」であるのはなぜですか。理由を記述しなさい。

問5 実験②で、クッキーBを選ぶ人が増える原因となっている現象を何と呼びますか。本文から5字で抜き出ささい。

問6 この現象が「理不尽な判断」に思えるのはなぜですか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：本当は面積を比べるべきなのに、幅と高さという一目でわかる要素だけで判断してしまうから。

イ：クッキーAとBの大きさがまったく同じではなく、最初からBのほうが大きいから。

ウ：人は小さいクッキーを見ると、必ず大きいほうを選びたくなるから。

エ：クッキーCが選ばれないことで、AとBの価値もなくなってしまうから。

問7 このような「奇妙な癖」とは、どのような内容ですか。本文の言葉を使って書きなさい。

問8 「合理的に物事を判断している」の反対の内容として最も近い表現を、本文から14字で抜き出ささい。



問8 筆者がこの現象を「脳がもともともっている癖」と言える根拠は何ですか。  
「～から。」につながるように、本文から抜き出さない。

問10 「直感がもたらす最大の恩恵」とは何ですか。本文の言葉を使って20字で抜き出さない。

問11 直感で選ぶことのデメリットとして正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：いつも判断に長い時間がかかってしまう。
- イ：特殊な条件がそろると、誤った判断に陥ることがある。
- ウ：経験を積むほど、直感がまったく働かなくなる。
- エ：直感で選ぶと、必ず合理的な判断になる。

問12 クッキーの実験における「落とし穴」の内容として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：面積を比べる必要があるのに、幅と高さという簡単な要素だけで判断してしまうこと。
- イ：クッキーCが小さすぎて、AとBの違いまで見えなくなってしまうこと。
- ウ：クッキーAとBが同じ大きさなので、どちらを選んでも結果が変わらないこと。
- エ：人は三つ以上の選択肢があると、必ず真ん中を選んでしまうこと。



問13 「脳の癖は、脳が効率よく作動しようと努めたことの裏返し」とはどういうことですか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：脳の癖は、すばやく判断して生き残るために発達した働きが、別の場面では誤った判断にもつながるということ。

イ：脳の癖は、時間をかけて論理的に考えようとする働きが強くなりすぎた結果だということ。

ウ：脳の癖は、幼いころの経験だけによって作られ、大人になると自然に消えるということ。

エ：脳の癖は、人間関係を悪くしないように脳が特別に用意した仕組みだということ。

問14 この説明文の「表現技法（表現の工夫）」について、正しく説明しているものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：筆者の意見だけを続けて述べ、具体例はほとんど使っていない。

イ：クッキーの実験や野生動物の例など、具体的な事例を示して読者にわかりやすく説明している。

ウ：難しい専門用語を中心に使い、読者に考えさせず結論だけを押しつけている。

エ：登場人物の会話を中心に、物語のように話を進めている。

問15 この説明文の「構成」について、正しく説明しているものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：序論で疑問を投げかけ、本論で実験や事例を示し、結論で筆者の主張をまとめている。

イ：序論で実験結果を詳しく説明し、本論で筆者の主張だけを述べ、結論で新しい疑問を出している。

ウ：序論で筆者の主張を断定し、本論でそれを否定する立場を説明し、結論で判断を保留している。

エ：序論から結論まで、同じ内容を繰り返し述べるだけで構成上の変化はない。



問16 この説明文で筆者が一番伝えたいこと（主題）はどれですか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：人間は直感で判断することが多いので、すべての決断を時間をかけて考え直すべきだということ。
- イ：脳には癖があると互いに知ること、誤解や偏見を減らし、自分にも他人にも優しくなれるということ。
- ウ：クッキーの実験から、人間は見た目にはだまされやすいので、お菓子を選ぶときには注意すべきだということ。
- エ：脳の癖は完全になくすることができないので、人間関係の問題は避けられないということ。



## 池谷裕二『自分の脳を知っていますか』 テスト練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 癖

問2 妙

問3 抜

問4 比較

問5 互

問6 陥

問1 イ

【解説】「あれこれ全てを考えていては際限がありません」のように、きりが  
ない・限りがないという意味で使われるよ。

問2 イ

【解説】「奇妙な癖」のように、ちょっと不思議で変わっていることを表すよ。

問3 ウ

【解説】「一見理不尽な判断」とは、普通に考えると筋が通らない、おかしい  
判断という意味だね。



## 問4 ア

【解説】直感的とは、理屈でじっくり考えるのではなく、感覚でぱっと判断する様子だよ。

## 問5 エ

【解説】「誤解や偏見が生まれ、不調和や闘争さえ生じる」のように、人間関係のバランスが崩れてギクシャクしてしまうことを指すよ。

問1 では、その場で最も適切と思われる要素を、人はどのように選ぶのでしょうか。それには、脳のどのようなはたらきが関わっているのでしょうか。

【解説】問題提起（問いかけ）の文だね。この二つの疑問に答える形で本論が進んでいくよ。

## 問2 脳の奇妙な癖

【解説】「この疑問を問うことで脳の奇妙な癖が理解できます」という一文から抜き出そう。

## 問3 ウ

【解説】実験②で、小さなクッキーCは選ばれないのに、Aを選ぶ人が減ってBを選ぶ人が増えるというのが重要なポイントだよ。

問4 (例) 実験①ではAとBは同じ割合で選ばれていたのに、誰も選ばない小さなクッキーCが追加されただけで、Aを選ぶ人が減ってしまったから。

【解説】「選ばれるはずのないCが増えただけなのに、なぜAとBの割合が変わってしまうのか」という点が意外なんだね。

## 問5 おとり効果

【解説】クッキーCが「おとり」の役割をして、人の判断を変えてしまう現象だね。



## 問6 ア

【解説】本当は「面積」を比べるべきなのに、幅と高さという簡単な要素にしぼって判断してしまうため、筋が通らない（理不尽な）判断に見えるんだね。

## 問7 (例) 判断をすばやく行うために、必要な要素を直感的に選び抜くこと。

【解説】「判断をすばやく行うために、必要な要素を直感的に選び抜くのです。」という部分が癖の具体的な内容だよ。

## 問8 非合理的な決断に陥ってしまう

【解説】「本人は論理的に考えているつもりかもしれませんが、知らず知らずのうちに判断の方法が変わり、非合理的な決断に陥ってしまうことがある」と書かれているね。

## 問9 同じ実験をヒトに近いチンパンジーに対して行っても、ヒトと似た結果が得られる

【解説】人間が後から身につけたものではなく、チンパンジーにも共通する「動物の脳がもともと持っている性質」だという証拠になるんだ。

## 問10 不要な要素をすばやく取り除くことができる

【解説】「不要な要素をすばやく取り除くことができるようになります。（中略）これが直感のもたらす最大の恩恵です。」と書かれているね。

## 問11 イ

【解説】本文には「しかし、直感はいつでも正しいとは限りません。特殊な条件がそろると、誤った判断に陥ってしまうこともあります。」とあるね。

## 問12 ア

【解説】直感で要素をしぼりすぎた結果、本当は面積を比べるべきところを、幅と高さだけで比べてしまうことが「落とし穴」なんだね。



## 問13 ア

【解説】シマウマの例のように、生き残るためにすばやく効率的に判断しようとした結果できたのが脳の癖なんだね。だから、脳そのものに罪はないと筆者は述べているよ。

## 問14 イ

【解説】読者に理解してもらうために、クッキーやシマウマなどの具体的な事例を使って説明しているのが、この文章の工夫だよ。

## 問15 ア

【解説】説明文の基本である「序論（問題提起）→本論（事例・根拠）→結論（筆者の主張）」という構成になっているね。

## 問16 イ

【解説】結論で述べられているのは、脳の癖を互いに知ることによって誤解を避け、自分や他人に優しくなれるということだよ。

